

作業の軽減が観光スポットに

周南市大道理地区は島地川ダムから須々万方面に国道376号を進んだ床に位置する

地域を挙げての活動で、様々な方面から高い評価を得ている「大道理の芝桜」、今や観光スポットしても大変な人気を誇る地域となりました。

4月12日、機会を得て場内を見せて



一面の芝桜、お土産物の売り場や、簡単な食堂まで営業していた

頂きました。地域内は自動車乗り入れが制限されていますので、すぐそばの特設駐車場に自動車をおいて、中に入ります。赤、桃、白の芝桜が地域内の畔を覆っています。これだけの面積をどうやって維持できるのだろうか、誰も不思議に思うところでは

実際に気は遠くなるような作業が

この一面の芝桜を支えていることが分かります。地域一帯は高低差が多く、畦畔は高く急傾斜です。この除草作業に困った農業者の方々が苦肉の策で、たどり着いたのが、この芝桜だと考えられました。

資料を見せてもらうと、雑草を除去しその上に防草シートを張り付けます。その上から必要な部分に芝桜を植え付けて行くのです。他の雑草をどう

抑えるかがポイントのようです。

4月の芝桜の開花時期は多い時には一日5000人近い人がこの地を訪れるとのこと。維持管理費用への協力を金として一人シーズン200円の支払いをしますが、これだけの芝桜を見せていたければ、「安い」のではないでしょう。

県の農村整備課ではこうした畦畔の雑草管理について「やまぐち型畦畔法面緑化工法」を10年以上前から推進しています。具体的には雑草を除去したのちに「芝」を植え、それを上手に育成して除草作業の負担を軽減するというものです。

「草刈り作業」は今や農作業の中で最も重労働かも知れません。何か良い方法を見つけないですかね。

金原水路にかかる農道の溝ふた固定を補修

市道の下水管理設工事が行われているため、迂回路として農道を通ることが多くなりました。数年前に補修した金原水路の溝ふた固定がゆるくなってきたので、新たな抑え金具を取り付けました。

自動車が緩んだ箇所を通るたびに「ガッチャン」と音がしていましたので、今度は少し改善されたはず



かなりの衝撃が加わる部分

シーズン活況「麦の収穫」が迫ってきた

麦の穂が出そろってきました。農事組合法人八方原では、秋に植え付けた麦を見守り続けてきましたが、もうしばらくで収穫の時を迎えます。

関係者の話では麦は、稲作よりも手がかかるといふ事です。そこで活躍しているのが「管理機」と言われる長い腕を持った機械です。この管理機のお

かげで、施肥や消毒などもスムーズに行われています。

麦の価格は決して高くありません。「補助金なしでは採算が合わない」というのが実情です。しかしこうした困難な状況に向かつていくしかないのが現状です。

収量だけを追う農業は広大な土地を

大盛況「棟上げの餅まき」

建築工事が着々と進んでいた原田清太郎・英美さんご夫妻の新しいおうちが棟上げ式を迎えました。4月26日の



「餅」が撒かれたら、大人も子どももないみんな必死

午後、神事が行われた後「餅まき」が行われ、たくさんの人々がお祝いに駆けつけました。古式に則り、家の四方に門もちという大きな餅が投げられました。そのあとは上から投げられる餅や菓子巡って、激しい争奪戦。最後に特大の紅白鏡餅が投げられ、「餅まき」が終わりました。

餅まきは地域によっても差があるようですが、棟上げ式の後に「厄払い」の意味で行われるようです。これを「散財散銭の儀」と呼び、初めに行う「門もち」は土地の神様へのお供えの意味で、それらを持ち帰っていただくことで厄を払うことができるという習わしです。

何はともあれ、立派な新居が出来上がり、楽しい家庭が築かれることを祈りましょう。

持つ外国にないかもしれません。これからの課題は収量以外の魅力づくりという事ではないでしょうか。



今年は11ヘクタールに麦が植え付けられた

どうする公民館の使用料

4月13日に開催された地区総集会で結論が持ち越された「公民館使用料改定」について再度集会が招集されることになりました。

総集会では、「受益者負担が原則だ」という意見、「建設費を負担した住民の権利だ」「暖房費などは負担すべきだ」などの意見が出ました。

公民館運営の過去の経緯や、今後の見通しなど、必要な視点は少なくありません。

◇◇5月の行事予定◇◇

- 5月11日 農業排水路泥上げ作業
避難訓練
八方原地区臨時総集会
- 5月18日 小郡地区大運動会
- 5月25日 用水路清掃作業

一年分の泥を除去

排水路（水田の落水）泥上げへのご協力を

八方原地区の農業用排水路の泥上げ作業を行います。従来農家だけで実行していましたが、どなたが参加されても結構です。

参加の方には、当会より日当(2000円前年実績)をお支払いいたします。

【日時】5月11日(日)

朝市広場に8時集合

【連絡先】

八方原水利部 杉山

☎972・7805

※かなり、きつい作業です。クワ、鋤簾、スコップなどは若干用意しています。